

# 専門分野Ⅱ

## 23単位 (600時間)

<ねらい>

- 人間が誕生し成長・発達を遂げ人生を全うする過程における特徴と健康な生活について学ぶ。
- 特に、各発達段階におけるセルフケア支援とよりよい生活について考える。
- 各発達段階において多様な健康課題を有する対象に、科学的根拠に基づき看護実践ができる基礎的能力を養う。
- 人間のもつ機能と能力を障害・喪失することで生じる様々な影響を理解し、その人がその人らしく生活することについて考える。
- 人生の終焉にあるひとと取り巻く人々へ対する看護を学ぶ。
- 対象に共感しながら寄り添う姿勢を養う。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
成人看護学	成人看護学概論	1	30
	呼吸と循環の看護	1	30
	栄養と代謝の看護	1	30
	内部環境の看護	1	30
	認知と運動の看護	1	30
	周手術期の看護	1	15
	人生の終焉の看護	1/7	15/180
老年看護学	老年看護学概論	1	30
	高齢者の生活支援	1	30
	健康障害をもつ高齢者の看護	1	30
	老年看護過程	1/4	15/105
小児看護学	小児看護学概論	1	15
	成長・発達への支援	1	30
	小児臨床看護論	1	30
	健康障害のある小児の看護	1/4	30/105
母性看護学	母性看護学概論	1	30
	妊婦と産婦の看護	1	30
	褥婦と新生児の看護母性看護過程	1	30
	ウィメンズヘルス	1/4	15/105
精神看護学	精神看護学概論	1	30
	精神の健康を守る看護	1	15
	精神症状のある人への看護	1	30
	精神機能に障害のある人への社会支援	1/4	30/105
合計		23	600

# 精神看護学

## 4単位（105時間）

### <ねらい>

精神看護学は、すべてのライフサイクルにある人を対象とし、精神の健康を維持するための援助および、精神のバランスを崩している人々や精神障害者とその家族に対する援助について学ぶ。

健康を精神と体の両面から捕らえ、自身の精神の健康に関心を向けることができるような学習を取り入れていく。また、看護における関係の成立・進展の技術を習得することにより看護の学習者としての成長を促し、資質の向上を役立てられることをねらいとする。

精神障害者の理解とともに、精神の健康問題に関連した保健・医療・福祉サービスの成り立ちやそれに影響を与えた歴史的背景を踏まえ、精神障害者が地域でその人らしく生活できるための支援方法を理解していく。

### <目的>

すべてのライフサイクルにある精神看護の対象を理解し、精神のバランスを崩している人々や精神障害者とその家族の援助について学ぶ。

### <目標>

1. 精神の健康および精神看護の対象、看護の役割について理解する。
2. 精神の健康の意義と精神の健康に影響を与える要因を理解する。
3. 精神障害者の処遇について歴史的変遷や社会背景を理解するとともに、今後の課題について考える。
4. 精神の健康・維持増進と予防について必要な援助を学ぶ。
5. 精神障害者と家族に対する理解を深め、援助方法を学ぶ。
6. 精神障害者の社会復帰活動について精神保健医療・福祉の連携を通じて理解する。

### <構成>

教育内容	科目	単位	時間数
精神看護学	精神看護学概論	1	30
	精神の健康を守る看護	1	15
	精神症状のある人への看護	1	30
	精神に障害がある人への社会支援	1	30
合計		4	105

授業科目名	精神看護学概論			担当教員	細田 梓 朝戸 美絵		
分野	専門分野Ⅱ	教育内容	精神看護学	総単位 時間数	1	年次	1年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
精神障害をもつ患者やその家族への精神的ケアをした経験がある。	実務経験を活かし、心の構造について、不安から生じる精神機能異常として現れる精神症状について講義している。また、歴史的な精神医療について振り返り、精神看護の課題と展望について講義する。

授業のねらい・概要
1. 看護・治療としての人間関係について理解できる。 2. その人らしさを創造する自我（こころ）について学ぶ。 3. 精神医療の変遷について知り、医療における患者の権利や精神障害者の処遇をめぐる問題について理解できる。

授業内容および方法			
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	こころの機能と発達(1)	講義	
2	こころの機能と発達(2)	講義	
3	脳の仕組みと精神機能(1)	講義	
4	脳の仕組みと精神機能(2)	講義	
5	危機の概念	講義/演習	
6	危機介入	講義/演習	
7	精神障害者の人権とQOL	講義/演習	
8	患者の処遇と歴史の変遷 (1)	講義	
9	患者の処遇と歴史の変遷 (2)	施設見学	
10	患者の処遇と歴史の変遷 (3)	施設見学	
11	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	講義	
12	精神医療福祉に関する法制度	講義	
13	リエゾン精神看護 (1)	講義/演習	
14	リエゾン精神看護 (2)	講義/演習	
15	医療チームにおける看護の役割	講義	

使用教科書・教材・参考書
系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院

成績評価の方法
筆記試験100点

備考

授業科目名	精神の健康を守る看護			担当教員	朝戸 美絵		
分野	専門基礎分野Ⅱ	教育内容	精神看護学	総単位 時間数	1単位 15時間	年次	2年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
心療内科での実務経験あり。身体症状・精神症状を訴える患者に対して臨床において看護の提供を実施していた。	人が誰も抱えている精神的ストレスについて理解し対処方法を理解することで、自分や他者に対して目が向けられるように講義展開を行う。また、精神におけるコミュニケーションは、大切な援助であり対象に合わせた方法を実践を要するため、演習を展開している。

授業のねらい・概要
1. 自身や周囲の人のこころの健康に関心を向ける事ができる。 2. 看護における関係の成立・進展の技術について理解できる。

授業内容および方法			
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	援助関係の構築	講義	
2	援助的コミュニケーション	講義/演習	
3	自己理解の必要性と方法（1）	講義/演習	
4	自己理解の必要性と方法（2）	講義/演習	
5	ストレスと対処 適応理論	講義	
6	ストレスマネジメント	講義/演習	
7	リラクゼーション	講義/演習	
8	認知行動療法	演習	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用教科書・教材・参考書
系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院

成績評価の方法
筆記試80点、レポート10点・成果物10点

備考

授業科目名	精神症状のある人の看護			担当教員	丸山 雄大 細田 梓		
分野	専門分野Ⅱ	教育内容	精神看護学	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	2年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
精神科病棟で急性期・慢性期病棟で勤務を経て現在、精神科訪問看護を行っている。	実務経験を活かし、精神科における安全な治療的環境について講義を行い、更に演習を通して学ぶ。精神疾患の主要症状、精神科救急、災害の看護について事例を用いて講義を行っている。

授業のねらい・概要
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境が個人に及ぼす影響を学び、治療的環境について理解を深める</li> <li>2. ところを障がいされた個人とその家族を支えるために必要な基礎的知識を理解できる</li> <li>3. 災害時に必要なところを障害された人への支援について理解できる。</li> </ol>

授業内容および方法			
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	急性期における症状と看護	講義/演習	
2	慢性期における症状と看護	講義/演習	
3	人格・行動の障害のある対象の看護	講義/演習	
4	気分（感情）の障害のある対象の看護	講義/演習	
5	神経症性障害のある対象の看護	講義/演習	
6	生理的障害のある対象の看護	講義/演習	
7	アディクションのある対象の看護	講義/演習	
8	発達障害のある対象の看護	講義/演習	
9	症状マネジメント	講義	
10	精神科で行われる検査・治療を受ける対象の看護（1）	講義	
11	精神科で行われる検査・治療を受ける対象の看護（2）	講義	
12	治療的環境と看護（1）	講義	
13	治療的環境と看護（2）	演習	
14	災害時地域保健医療活動	講義/演習	
15	精神科救急における看護	講義/演習	

使用教科書・教材・参考書
系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院

成績評価の方法

備考

授業科目名	精神機能に障害がある人の社会支援			担当教員	山下 和子 朝戸 美絵 細田 梓		
分野	専門分野Ⅱ	教育内容	精神看護学	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	2年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
就労移行支援・定着支援・相談支援など精神障害者に対する地域生活支援を行っている。	精神科領域が入院中心から地域生活が中心となり、看護師の役割は広がりを見せ、社会資源などの知識が必要とされている。実務経験を活かし実際に行われている活動から、事例を中心に講義・演習を行っている。

授業のねらい・概要
1. 精神保健におけるリハビリテーションの意味とサポートシステムについて理解することができる。 2. 生活障害をヘルスアセスメントし、その人らしく生活出来るよう看護過程を展開する。

授業内容および方法			
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	社会復帰・社会参加の基本 入院と地域をつなぐかかわり	講義	
2	生きる力と強さに注目した援助	講義	
3	家族の理解と援助	講義	
4	保健医療に関する資源の活用と調整	講義	
5	社会資源の活用とケアマネジメント	講義	
6	地域における支援方法と実際	講義	
7	地域における精神障害者のニーズ	講義	
8	バイオ・サイコ・ソーシャルモデル	講義/演習	
9	生物学的側面に注目したアセスメント	講義/演習	
10	心理学的側面に注目したアセスメント	講義/演習	
11	社会的側面に注目したアセスメント	講義/演習	
12	生活の障害に視点をおいた援助 (1)	講義/演習	
13	生活の障害に視点をおいた援助 (2)	講義	
14	地域包括システムに向けての看護アプローチ	講義	
15	その人らしく生活するための支援	講義/演習	

使用教科書・教材・参考書
系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 精神看護学 [2] 精神看護の展開 医学書院

成績評価の方法
筆記試験50点、レポート10点、事例40点

備考